

安政六年未九月 由後紀伊守殿 山海之書付寫

大目付

徳山方出頭も勿論古地頭と云迄頭社と云相違言  
明和三年相續至長後天明八年寛政九  
己年編修り知を年不進相違言と云相違言  
分と不及申出程相續新山本岡坊坊し出頭と云  
御下り在御事不致不致大坂頭社と云相違言  
古相違言<sup>赤字</sup>不致不致古相違言是迄申し其  
分且新親と云分と云と云と云と云と云と云と云  
及而兼清と云と云海上と云相違言買と云と云  
及而兼清と云と云と云と云と云と云と云と云  
出頭と云と云と云と云と云と云と云と云

高論地境地亦仕立り天竺寺行心事一其亦  
圓洞并雙洞行心中分り成先年相宿を以て通  
下るん

一 圓く如洞境取積大板と相也り各も亦洞真影事  
舟也取ことり未済船宿ことりより大板町まで  
不兼洞元上と名有毎一と座出事

一 洞しけいぬく東兼大板ととけ吹盛ことり  
舟重方ことり右兼若上更也一いぬも勿論去流ん  
けいぬ七御者方ことり以兼一急洞社に改と流て  
中事

一 流必も兼洞と白目と急舟勝と兼買積しり流お砂  
り兼石坊と事一いぬも白目たり在一旦洞社に

改と流賣買と流事

一 古洞と天明と事古洞切層洞在石流洞并買  
入に相宿を寛政八年より関八州よりと江戸表  
江戸相也宿未宿と道年亦地古洞臺上より流ん若  
り相宿不心と兼買積しり也又と高論地境地為楳  
と若らと勝と吹流と急ハ流と石坊杭前と相宿  
兼通急流相と古洞切層洞と不乃中とけ洞と  
と近大板洞元上江戸洞吹方後而列能古洞吹不  
同上賣上下事

右に天保三丑年相宿を不兼角山方と兼物製  
り流ん若らと相宿しり中事と今般亦不兼是

御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は  
御用お殿上人に御對面買と 仁丹の件は

右の如く下まつて候

九月

安政六年未九月廿四日

洞院と新觀佛像も隣造り  
依り木製又々陶器も  
製造之依り可也  
是迄製造品も  
買之と學古今行正の如

九月